講演会・各種行事のお知らせ

（３月25日以降分）

名　称	日時・場所	内　容	備　考
北勢地区脳卒中医療連携を考える会	３月25日㈪ 午後７時30分～ Web配信のみ	特別講演「超高齢社会における適切な抗血栓療法～脳梗塞予防と頭蓋内出血回避を如何に両立させるか～」 （講師）福岡脳神経外科病院副院長兼 脳血管内科部長 矢　坂　正　弘 氏 他 ◆お問合せ先 kaino.shoji.us@daiichisankyo.co.jp 第一三共㈱ 改野　TEL 090-6954-4669	共催： 四日市医師会 第一三共㈱ CC(単位数)： 73(0.5)
第27回南勢神経フォーラム	３月26日㈫ 午後７時～ ベイシスカ（津市） ※Web参加可	特別講演「脳梗塞慢性期、後遺症マネジメント～脳卒中後疼痛を中心に～」 （講師）京都大学大学院医学研究科臨床神経学 講師　眞　木　崇　州 氏 他 ◆お問合せ先 第一三共㈱ 伊藤　TEL 080-1024-8347	共催： 津地区医師会 第一三共㈱ CC(単位数)： 63(1)
四日市医師会東洋医学研究会	３月27日㈬ 午後７時30分～ 四日市医師会館２階〔会議室〕 ※Web参加可	「似たもの処方解説２（意外とあります構成生薬の似た処方）」 （講師）古田医院 院長　古　田　義　博 氏 ◆お問合せ先 tomita_shigeo@mail.tsumura.co.jp ㈱ツムラ 冨田　TEL 059-224-1255	共催： 四日市医師会 ㈱ツムラ CC(単位数)： 83(1.5)
第33回はづDMネット	３月27日㈬ 午後７時30分～ Web配信のみ	「糖尿病治療のアルゴリズム～GLP1製剤のポジショニング～」 （講師）福島県立医科大学 糖尿病内分泌代謝内科学講座 教授　島　袋　充　生 氏 ◆お問合せ先 tnky@novonordisk.com ノボ ノルディスク ファーマ㈱ 小林 TEL 080-4927-3400	共催： 四日市医師会 四日市羽津医療センター ノボノルディスクファーマ㈱ CC(単位数)： 76(1)
鈴鹿中央総合病院 地域病診連携学術講演会	３月28日㈭ 午後６時30分～ 鈴鹿中央総合病院北棟２階〔講義室〕 ※Web参加可	特別講演「進行性線維化を伴う間質性肺疾患(PF-ILD) は制御可能か？」 （講師）三重大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学分野 教授　小　林　哲 氏 ◆お問合せ先 takashi.yamaguchi@boehringer-ingelheim.com 日本ベーリンガーインゲルハイム㈱ 山口 TEL 080-8021-9648	共催： 鈴鹿市医師会 亀山医師会 鈴鹿中央総合病院 日本ベーリンガーインゲルハイム㈱ CC(単位数)： 45(1)

名　称	日時・場所	内　容	備　考
Breast Cancer Clinical Seminar	３月29日㈮ 午後７時～ Web配信のみ	⑴当院におけるGCSF製剤の使用実態(仮) （講師）日本赤十字社大阪赤十字病院 乳腺外科主任部長 露　木　　茂 氏 ⑵GCSGの歴史と最新の知見(仮) （講師）順天堂大学大学院医学研究科 乳腺腫瘍学 教授　　渡　邉　純一郎 氏 ◆お問合せ先 keisuke.yasaka.sr@kyowakirin.com 協和キリン㈱ 八坂　TEL 080-2027-5316	共催： 四日市医師会 協和キリン㈱ CC(単位数)： 9(計1)
Sun Derma Forum in 津	４月４日㈭ 午後７時～ Web配信のみ	「乾癬バイオ製剤による早期介入の意義とタイミングを考える～当院におけるTildrakizumabの実臨床データを踏まえて～」 （講師）東京大学大学院医学系研究科 臨床カンナビノイド学講座 特任講師　　深　澤　毅　倫 氏 ◆お問合せ先 サンファーマ㈱ 向井　TEL 080-3487-8259	共催： 津地区医師会 サンファーマ㈱

※CCとは日医生涯教育講座カリキュラムコードの略です。
※内容が変更になる場合がありますのでご了承下さい。

日本医師会生涯教育制度における令和５年度分自己申告について

日本医師会生涯教育制度につきましては、「全国医師会研修管理システム」を利用して単位管理を行っておりますが、**研修管理システムを利用しない項目（日本医学会総会、日本医学会加盟学会の主催による講演会、医師国試問題作成、臨床実習等における指導、体験学習、論文執筆等）**により取得した単位につきましては、日本医師会雑誌３月号に同封される生涯教育申告書の「生涯教育制度単位等記入表」に記入の上、参加証等を添付して**４月末日までに郡市医師会へご提出**いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、申告書は日本医師会ホームページ生涯教育 on-line（https://www.med.or.jp/cme/）「日医生涯教育制度」内にも掲載されますので、ダウンロードしてご利用下さい。

（学術担当理事）

三重産業保健総合支援センター
令和６年度産業保健研修会（４月～９月）

【申込み方法】原則、当センターのホームページ（以下、HPといいます。）の「研修のご案内申込み」の「研修会申込み」の画面から、研修会の前日までに行ってください。
【申込み回数】少しでも多くの方に研修の機会を設けさせていただきたく、「産業医向け研修会」については、お１人様１ヶ月間に１研修以内とします。ただし研修会開催日の一週間前において、定員に達していない場合は制限を解除します。
【受付開始日】研修会開催日の属する月の初日の２ヶ月前の開館日の午前８時頃からとします。
【受付締切日】研修会前日までとしますが、定員になり次第受付けを終了します。ただし、キャンセル等で定員に余裕ができた場合は、受付けを再開しますので、希望される研修会については、随時HPを確認してください。
【申込み前に！】必ずHPの「三重産業保健総合支援センター産業保健研修会受講者の皆様へ」をご覧いただき、ご理解の上、お申込みください。なお、コロナ対策、天災事変、申込者が少ない場合や講師都合等により研修会を中止する場合があります。既に申込み済みの方には、当センターから連絡させていただきます。
【研修会場】三重さんぽセンター会議室（三重県医師会館 ５階）です。
【研修時間】「産業医向け研修会」は14時30分から16時30分までの２時間が基本ですが、一部の研修会は開始時間等が異なりますのでご注意ください。なお、都合等で欠席される場合は、早めに必ず連絡をお願いします。
【ご注意１】研修会に15分以上の遅刻・早退があった場合は、単位の一部又は全部が認められなくなります。また、研修予定時間の一部のみの受講を希望される申込みは受け付けられません。
【ご注意２】メルマガ登録をいただき、月２回目の研修受講の特典を利用して研修会を申込まれる際には、当センターHPの申込みフォームの「メルマガパスワード」欄に、その月号に記載の「パスワード」を必ず記入願います。記入がない場合は、特典をご利用いただくことができませんのでご理解、ご協力をお願いします。
【連絡先】三重さんぽセンター
〒514-0003　津市桜橋２丁目191番地４　三重県医師会館５階　HPアドレス https://www.mies.johas.go.jp/　TEL 059-213-0711

◆産業医向け研修会（日医認定産業医『生涯研修』の単位が取得できる指定研修となる予定です。）

＊は研修時間にご注意ください。

開催日時	研修会テーマ 内　容	講師 所属・役職・資格等 定員／認定研修
４月10日(水) ＊13:30～15:30	**労働基準法のあらまし** 労働トラブル未然防止のための労働関係法及び働き方改革関連法について、実例を交えて説明します。	大西洋一 社会保険労務士 当センター産業保健相談員(労働衛生関係法令) 28名　生涯：更新　２単位
４月11日(木) 14:30～16:30	**自殺関連行動への対応と自殺後の対応** 希死念慮、自傷行為、自殺企図など自殺関連行動への対応と自殺が起こった後の対応についてお話しします。	楠本みちる 三重県こころの健康センター所長 当センター産業保健相談員(産業医学) 28名　生涯：専門　２単位
４月18日(木) 14:30～16:30	**リスニング（カウンセリング）の展開方法と実習** リスニング（カウンセリング）の展開方法について概説するとともに、リスニング（カウンセリング）の基礎となる受容と傾聴について楽しく実習しましょう。	竹内登規夫 (大)愛知教育大学 名誉教授 当センター産業保健相談員(カウンセリング) 28名　生涯：実地　２単位
４月25日(木) 14:30～16:30	**熱中症の予防対策 ～STOP!熱中症 クールワークキャンペーン～** 職場における熱中症の予防については、平成29年より「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の実施要領が示され、職場において取組まれているものの、依然熱中症による労働災害が多発しています。令和５年度の厚生労働省・三重労働局・労働基準監督署の取組み内容と職場における予防対策について説明します。	林　文代 看護師、産業カウンセラー 当センター産業保健相談員（保健指導担当） 28名　生涯：専門　２単位
５月９日(木) 14:30～16:30	**職員のアルコール健康障害を巡って** 2023年11月に三重大学医学部臨床講義室で開催した「職場のアルコール対策」のシンポジウムでの成果を皆様と共有したいと思います。また、「一般病院の医師向けアンケート調査」では、医師の多くがアルコール健康障害患者の酩酊状態、離脱症状で困っていることが明らかになりました。アルコール依存症者の家族はもっと困っています。その現実を知っていただくとともに皆様の職場で活用できるエビデンスをお伝えします。	猪野亜朗 泊ファミリークリニック 副院長 当センター産業保健相談員(メンタルヘルス) 28名　生涯：実地　２単位

５月13日(月) 14:30～16:30	労働衛生行政の動向について 労働衛生の現状を踏まえ、労働衛生行政の動向等を説明します。	三重労働局 健康安全課長 三重労働局労働基準部 健康安全課長 28名　生涯：更新　２単位
５月14日(火) 14:30～16:30	働く人々への保健指導の難しさとやりがい 働く人の多くは保健行動の重要性を認識していますが、それへの行動変容が難しい状況です。どうすればその気になりそれを持続できるか、また、その支援が功を奏した時のやりがいはどうか、経験を踏まえて述べたいと思います。	河野啓子 (学)四日市看護医療大学 名誉学長 当センター産業保健相談員(保健指導) 28名　生涯：専門　２単位
５月16日(木) 14:30～16:30	産業医及び産業保健スタッフ等が知っておきたい⑦ ～国が支援する７つの最新キーワード＆ツール ～ 「健康経営優良法人認定制度」、「心理的安全性」、「DND相談」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。	石見忠士 (一社)日本産業カウンセラー協会 こころの耳運営事務局長 28名　生涯：専門　２単位
５月20日(月) 14:30～16:30	労働時間と急性心筋梗塞 労働時間が急性心筋梗塞の発症リスクに及ぼす影響と、集団における寄与危険割合、すなわち、労働時間管理によって予防可能な心筋梗塞の割合についてお話します。	笠島　茂 (大)三重大学 名誉教授 当センター産業保健相談員(産業医学) 28名　生涯：専門　２単位
５月23日(木) 14:30～16:30	歯周病などの歯科疾患と生活習慣病との関連について 歯科疾患と生活習慣病は深く関連しています。今回は、歯周病と全身の健康との関連と歯周病予防についてお話しします。	福森哲也 (公社)三重県歯科医師会 副会長 当センター産業保健相談員(産業医学) 28名　生涯：専門　２単位
５月29日(水) 14:30～16:30	メンタルヘルスと交流分析 交流分析理論は、D.フロイドの弟子のE.バーンによって提唱されたものです。この交流分析理論のうち「かかわり分析」「ストローク分析」「時間の構造化」等について解説するとともに、メンタルヘルスに対してどのような示唆をしているかについても考えてみましょう。	竹内登規夫 (大)愛知教育大学 名誉教授 当センター産業保健相談員(カウンセリング) 28名　生涯：専門　２単位
６月13日(木) 14:30～16:30	これからの化学物質管理とその対策 化学物質の自主管理に向けたこれからの対応を検討したいと思います。	谷垣己子男 労働衛生コンサルタント・第一種作業環境測定士 当センター産業保健相談員(労働衛生工学) 28名　生涯：専門　２単位
６月18日(火) 14:30～16:30	自律的化学物質管理における呼吸用保護具の選択と使用 化学物質リスクアセスメント指針及び技術上の指針で定めるリスク低減措置として、呼吸用保護具を使用する場合の、適切な選択と使用方法等について説明します。	浅野　保 第一種作業環境測定士、環境計量士 当センター産業保健相談員(労働衛生工学) 28名　生涯：専門　２単位
６月19日(水) 14:30～16:30	労災保険制度及び認定基準等の概要 労災保険給付の給付内容や各種制度の概要、労災認定の考え方、各種認定基準等について解説します。	三重労働局 地方労災補償監察官 三重労働局労働基準部労災補償課 地方労災補償監察官 28名　生涯：更新　２単位
６月20日(木) 14:30～16:30	母性健康管理、仕事と家庭の両立 女性労働者の妊娠期から出産後にかけての事業主が講ずべき措置や母性保護規定等について解説します。 男女ともに仕事と育児等を両立するための育児・介護休業法について運用上のポイントを解説します。	三重労働局 雇用環境・均等室 担当官 三重労働局雇用環境・均等室 担当官 28名　生涯：更新　２単位
６月21日(金) 14:30～16:30	安全配慮義務から見た産業医の役割 安全配慮義務に関する判例について解説し、安全配慮義務を遵守するための事業主の体制と産業医の関わり方について解説をしたいと思います。	鈴木栄智 鈴木栄智法律事務所　代表 当センター産業保健相談員(労働衛生関係法令) 28名　生涯：実地　２単位
６月26日(水) 14:30～16:30	化学物質の有害性のリスクアセスメントの基本と事例 化学物質の有害性のリスクアセスメントについて基本的な事項について説明し、リスクの見積り例とリスクの低減措置など、化学物質管理のためのリスクアセスメントのポイントと実施例について紹介します。	村田和弘 労働衛生コンサルタント・第一種作業環境測定士 当センター産業保健相談員（労働衛生工学） 28名　生涯：専門　２単位

６月27日(木) 14:30～16:30	医師並びに運送業関係の長時間労働問題について（その１） いわゆる2024年問題で医師等にも長時間労働の法的規制が行われますが、その法的問題点を解説します。	國田武二郎 あすなろ法律事務所長 弁護士 当センター産業保健相談員(労働衛生関係法令) 28名　生涯：専門　２単位
７月４日(木) * 13:30～15:30	労働基準法のあらまし 労働トラブル未然防止のための労働関係法及び働き方改革関連法について、実例を交えて説明します。	大西洋一 社会保険労務士 当センター産業保健相談員(労働衛生関係法令) 28名　生涯：更新　２単位
７月11日(木) 14:30～16:30	産業医による職場巡視のポイント 産業医が、製造業を主とする工場や事務所を巡視する際のポイントについて、事例を紹介しながら解説します。	後藤義明 富士電機(株)三重工場健康管理センター 所長 三重産業医会 理事 当センター産業保健相談員（産業医学） 28名　生涯：専門　２単位
７月17日(水) 14:30～16:30	わが国における産業保健の方向性と産業看護職への大きな期待～その期待に応えるためには？～ わが国における社会・経済の変化、働く人の健康課題の変化、経営環境の変化、そして産業保健をめぐる動きを概観し、産業保健の方向性と産業看護のこれからを展望したいと思います。	河野啓子 (学)四日市看護医療大学 名誉学長 当センター産業保健相談員(保健指導) 28名　生涯：専門　２単位
７月24日(水) 14:30～16:30	アサーティブネスコミュニケーションの在り方を考える アサーティブネス（アサーション）はコミュニケーション技法のひとつです。この用語は1950年頃から心理学領域で用いられるようになり「自己主張」という意味です。相手の考えを尊重しながら対等に自己主張していくコミュニケーションスキルで、人間関係豊かでストレスの少ない職場づくりにとって大切なスキルです。演習をしながら学びましょう。	竹内登規夫 (大)愛知教育大学 名誉教授 当センター産業保健相談員(カウンセリング) 28名　生涯：実施　２単位
７月25日(木) 14:30～16:30	作業場の換気・排気（基礎編） 粉じん対策の概要と粉じん作業等に関わる局所排気装置の設計について、流体力学の観点から簡単に説明します。	辻本公一 (大)三重大学大学院 工学研究科教授 当センター産業保健相談員(産業医学) 28名　生涯：専門　２単位
８月22日(木) 14:30～16:30	事業場における治療と仕事の両立支援 がんなどの病気を治療しながら働きたい労働者に対して、職場はどのように対応したらよいでしょうか。厚生労働省が作成した「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」や「企業・医療機関連携マニュアル」に沿って、環境整備や進め方、様式事例集等について説明します。	上住津恵 当センター　産業保健専門職 28名　生涯：更新　２単位
９月３日(火) 14:30～16:30	皮膚障害防止用保護具の選択 皮膚障害化学物質について不浸透性の保護具等の使用が義務付けされ、新たに「皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル」が出されました、その内容について説明します。	浅野　保 第一種作業環境測定士、環境計量士 当センター産業保健相談員（労働衛生工学） 28名　生涯：専門　２単位
９月５日(木) 14:30～16:30	石綿による健康障害の実態と対応 石綿は現在禁止物質になっていて、新製品には含まれていませんが、すでに石綿含有建材を使用した建築された建物の解体やリフォームの作業での石綿ばく露は現在も続いています。石綿による中皮腫、肺がんの発生も続いており、医師に求められる石綿関連疾患の知識とその所見の診方、石綿健康管理手帳交付などの対応について解説します。	柴田英治 (学)四日市看護医療大学　学長 当センター産業保健相談員(産業医学) 28名　生涯：専門　２単位
９月13日(金) 14:30～16:30	知っておきたい メンタルヘルスに使用される薬について 精神科で処方される薬の作用や副作用、市販薬などによるセルフメディケーションについてお話します。	中村友喜 三重県立こころの医療センター 診療技術部技師長兼薬剤室長兼感染管理室長 当センター産業保健相談員(産業医学) 28名　生涯：専門　２単位
９月25日(水) 14:30～16:30	作業環境測定結果の見方と評価及び事後措置 作業環境測定結果の見方と評価及び事後措置（リスク低減措置)、評価結果に係る関係法令、ばく露の指標としてのリスク見積り時（化学物質管理のためのリスクアセスメント、特殊健康診断等）の留意点について説明し、リスクの見積りの事例について紹介します。	村田和弘 労働衛生コンサルタント・第一種作業環境測定士 当センター産業保健相談員（労働衛生工学） 28名　生涯：専門　２単位